

人工股関節置換術後最適なインプラント設置位置の範囲 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年8月5日～2023年3月31日

〔研究課題〕

人工股関節置換術後インプラントインピンジメントのない可動域をより大きく獲得するための最適な Combined anteversion 範囲の検討

〔研究目的〕

本研究の目的は、人工股関節置換術後の CT データを元に、インプラント自体が動く可動範囲を計測し、日常生活動作を行うために必要な股関節の可動範囲以上の可動範囲を得るために、最適なインプラント設置位置の範囲を明らかにすることです。

〔研究意義〕

最適なインプラント設置位置の範囲が分かることで、その範囲内にインプラントを設置することで、日常生活動作においてインプラントの衝突が生じにくい人工股関節となります。インプラントの衝突による合併症(脱臼、疼痛、ポリエチレンライナーの摩耗)の低減につながる可能性があり、人工股関節の長期成績向上に寄与します。

〔対象・研究方法〕

当院整形外科で人工股関節全置換術を受けた症例のうち、2014年10月から2020年12月までCT-basedナビゲーションを用い、2種類のインプラント(寛骨臼コンポーネントG7cup-大腿骨コンポーネントTaperloc stem、SQRUM cup-J-Taper stem)、骨頭径32mm以上を使用した症例を対象とします。骨盤変形のある症例は除外します。

診療の際に得られたカルテ情報や画像データを用います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部整形外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の保護に留意し、匿名化・保管・破棄の方法に配慮します。患者情報は研究終了後、帝京大学臨床研究センターで10年間保管後に破棄します。

〔その他〕 (健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

研究参加による経済的な利益は発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 松田 健太 病院准教授
研究分担者: 日高 亮 大学院生
所属: 帝京大学医学部整形外科学講座
住所: TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 33703]